

宮城県考古学会連絡紙

第94号

2025年7月5日発行

〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1

東北大学大学院文学研究科考古学研究室気付 宮城県考古学会事務局

令和7年度(2025) 総会、研究発表会

5月 17 日(土)に東北歴史博物館講堂にて、2025年度宮城県考古学会総会・研究発表会を以下の日程で開催しました。

【総会】10:00～10:30

長島榮一会長から開会挨拶があり、続いて議長団を選出し、下記の審議事項 5 件について議事が行なわれました。

審議事項

- (1)議案第1号 2024 年度事業報告
- (2)議案第2号 2024 年度収支決算報告
- (3)議案第3号 宮城県考古学会細則の一部改正
- (4)議案第4号 2025 年度事業計画
- (5)議案第5号 2025 年度収支予算

報告事項

- (1)宮城県考古学会顧問の委嘱について
- (2)宮城県考古学会普及委員会について
- (3)その他

各審議事項について、議案第1・3・4号は佐藤敏幸幹事長、第2・5号は庄子裕美総務代表幹事から説明があり、審議の結果、議案第1号から第 5 号まで可決承認されました。報告事項では報告事項(1)は佐藤敏幸幹事長、報告事項(2)は高橋守克普及委員会委員長より報告がありました。

【研究発表会】11:00～16:00

多賀城市教育委員会の共催、宮城県教育委員会の後援のもと、会員及び学生による研究発表 4 件、仙台市教育委員会による事例報告1件の計 5 件の口頭発表・報告がありました。

最後に鹿又喜隆副会長から閉会の挨拶があり本会は終了しました。

○研究発表 ※名前の下線は当日発表者を示す

「黒ボク土層・草原的植生・陥し穴ー縄文時代の植生攪乱と陥し穴獵ー」 山田晃弘

「東北地方の弥生土器研究の再検討」 趙娜・早瀬亮介・鹿又喜隆・阿子島香

「X線CTを用いた多賀城廃寺の泥塔の研究」 廉禱・鹿納晴尚

「三次元記録による板碑情報整理の一例ー石巻市新出の板碑から」 田中則和

○事例報告

「史跡仙台北城跡石垣の被災メカニズムと復旧工法」 大友翔平
(仙台市教育委員会文化財課 仙台北城史跡調査室)

【成果報告】

○東北歴史博物館3階講堂を会場に対面方式で開催し、荒天の中、74 名(会員 62 名、一般 12 名)の参加があった。

○ここ数年は特定のテーマによる研究発表を中心とした内容であったが、今年度は会員や考古学専攻の学生による研究発表と土工学分野からの文化財に関する事例報告が行われた。様々な世代の研究者による新たな分析や検討の視点を取り入れた研究発表が行われ、参加者からの質問や指摘など活発な意見交換も行われた。

【今後の課題】

○本研究発表会が会員等の調査研究成果の発表の場、研究者間の議論や意見交換の場として活発な会になるよう、特集テーマの設定や開催方法の工夫を続けていきたい。

○開催情報発信は学会HP、連絡紙、学会SNSを活用したが、今後も開催情報の発信・周知方法について検討を続け、広く周知したい。

令和7年度宮城県遺跡調査成果発表会について

令和7年度宮城県遺跡調査成果発表会について、下記の日程で開催致します。

※詳細は決定次第ホームページ等で公開致します。

日時:12 月 13 日(土)

会場:大崎市図書館多目的ホール

博物館・展覧会・イベント等情報

【七ヶ浜町歴史資料館】

●ミニ企画展「松島湾三町文化財展」

〔会 期〕7月5日(土)～9月7日(日) (七ヶ浜会場)

〔開館時間〕9:00～16:00

〔休 館 日〕月曜日 (月曜日が祝日の場合はその翌日)

〔観覧料金〕無料

【多賀城市埋蔵文化財調査センター】

●多賀城南門と瓦の歴史

〔会 期〕7月5日(土)～8月 17 日(日)

〔開館時間〕9:00～16:30

〔休 館 日〕月曜日 (月曜日が祝日の場合はその翌日)、

〔観覧料金〕無料

【東北歴史博物館】

●夏季特別展「世界遺産 縄文」

〔会 期〕7月12日(土)～9月15日(月・祝)

〔開館時間〕9:30～17:00

〔休 館 日〕月曜日・7/15(火) (ただし7/21(月)・8/11(月)・9/15(月)は開館)

〔観覧料金〕一般:1,600円(前売1,400円)

小・中・高:800円(前売600円)

【名取市歴史民俗資料館】

●企画展「集落から見た古代の名取」

〔会 期〕7月6日(日)～9月21日(日)

〔開館時間〕9:00～17:00

〔休 館 日〕毎週月曜日(祝休日の場合はその翌平日)

〔観覧料金〕無料

●研究集会「古代東北出土の施釉陶磁器」

主催:東北古代土器研究会

共催:東北大学埋蔵文化財調査室

日時:令和7年8月30・31日(土・日)

会場:東北大学片平さくらホール

プログラム:

8月30日(土)

13:00～ 開 場)

13:30～13:40 開会・趣旨説明)

13:40～14:40 基調講演「日本古代における国産施釉陶器と舶載陶磁器」
大阪大学大学院人文研究科 高橋照彦

14:40～14:50 休憩

14:50～15:40 報告1)「陸奥国中部の様相」
宮城県教育庁文化財課 高橋透

15:40～16:10 報告2)「陸奥国北部の様相」
奥州市教育委員会 高橋千晶
岩手県文化振興事業団 村田淳

8月31日(日)

9:30～10:00 報告3)「陸奥国南部の様相」
須賀川市教育委員会 管野博和

10:00～10:40 報告4)「出羽国南部の様相―城輪柵跡を中心に―」
酒田市文化資料館 渡部裕司

10:40～10:50 休憩

10:50～11:30 報告5)「出羽国北部の様相」
秋田市文化振興課 佐藤桃子
弘田柵跡調査事務所 小山美紀

11:30～11:50 報告6)「列島北端部の様相」
岩手県文化振興事業団 村田淳

11:50～13:00 昼食

13:00～15:00 討 論)司会 東北大学埋蔵文化財調査室 館内 魁生
福島県文化振興財団 菅原 祥夫

15:00 閉 会)

紙上報告)「山王遺跡千刈田地区出土施釉陶磁器の概要」
多賀城市埋蔵文化財調査センター 小原 駿平

事前申込:不要

資料代・参加費:500円

問い合わせ先:touhoku.kodaidokiken@gmail.com

備考:当日は、会場の駐車場は利用できませんので、ご了承ください。

県内発掘調査情報

●多賀城跡

〔所 在 地〕多賀城市市川

〔調査主体〕宮城県多賀城跡調査研究所

〔調査期間〕8月～12月(予定)

●北小松遺跡

〔所在地〕大崎市田尻小松明神

〔調査主体〕宮城県教育委員会

〔調査協力〕大崎市教育委員会

〔調査期間〕2025年9月(予定)

会誌『宮城考古学』について

●第28号(2026年5月発行予定)の原稿募集

投稿希望の方は2025年11月30日までに、第27号掲載の投稿申込みフォームにて下記アドレスまでお申込みください。投稿申込みフォームは宮城県考古学会ホームページからもダウンロードが可能です。応募多数の場合は早めに受付を終了いたします。原稿締切りは2026年1月31日です。【原稿の種類】①論文(22頁以内)②研究ノート(12頁以内)③展望(12頁以内)④資料紹介(8頁以内)ほか。書式等の詳細は会誌第27号を参照願います。

＜連絡先＞梅川隆寛(会誌幹事会代表)

E-mail:miyagikoukogaku@gmail.com

会費の納入をお願いいたします

会費は一般会員が4,000円、学生会員が1,000円、家族会員が5,000円です。未納の方は、お早めにお支払い下さい。

文化財担当職員・学芸員の採用情報を募集しております

宮城県内の文化財担当職員や学芸員の採用情報を募集しております。提供していただいた情報は、当会Webサイトにて公開いたしますので、よろしくお願いいたします。

＜連絡先＞矢内 雅之(連絡紙代表幹事)

E-mail:info@m-kouko.net(宮城県考古学会)

情報・寄稿などをお寄せ下さい！！

考古学に関する情報や寄稿、会員通信等をお寄せ下さい。また、ご意見ご要望もお待ちしております。

本会Webサイト(<http://www.m-kouko.net/>)では、本会連絡紙のほか、お寄せいただいた情報を随時掲載いたしております。発掘調査情報、学会、イベントなど考古学に関する情報をお寄せください。

X(旧Twitter)はコチラから ⇒

＜連絡先＞

矢内 雅之(広報連絡紙代表幹事)

E-mail:info@m-kouko.net(宮城県考古学会)

